

## 平成22年9月期 第2四半期決算短信

平成22年5月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ニックス

コード番号 4243 URL <http://www.nix.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 伸一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 先本 孝志

TEL 045-221-2001

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年9月期第2四半期の連結業績 (平成21年10月1日 ~ 平成22年3月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	1,789	25.4	88		106		104	
21年9月期第2四半期	1,427	38.7	334		349		349	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	45.32	
21年9月期第2四半期	152.08	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第2四半期	4,752	2,026	42.6	881.69
21年9月期	4,347	1,921	44.2	836.15

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 2,026百万円 21年9月期 1,921百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期		0.00		0.00	0.00
22年9月期		0.00			
22年9月期 (予想)				3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年9月期の連結業績予想 (平成21年10月1日 ~ 平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,620	28.0	35		26		24		10.57

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 社 (社名 ) 除外 社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 [(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無  
 以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第2四半期	2,298,500株	21年9月期	2,298,500株
期末自己株式数	22年9月期第2四半期	37株	21年9月期	37株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年9月期第2四半期	2,298,463株	21年9月期第2四半期	2,298,463株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、4. ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間における世界経済は、金融危機による景気低迷の中、各国政府による経済対策や金融安定化策により、中国をはじめアジアを中心に一部景気回復の兆しが見られました。しかしながら、国内では引き続き不安定な雇用情勢や設備投資抑制などにより、景気先行きは全体的に不透明なまま推移しました。

このような中、当社グループの主要販売先である事務機器業界及び生産設備業界においては、在庫調整の一巡や中国への生産シフト等による売上回復の兆し、そして設備投資意欲の改善が見られる傾向となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は880,469千円（前年同四半期比152.8%）となりました。

利益面につきましては、製品売上高の回復が予想以上に伸長したことに加え、人件費、販売費及び一般管理費ほかの大幅な見直し削減に引き続き努めたことで経常利益は46,118千円（前年同四半期は183,533千円の経常損失）、四半期純利益は47,873千円（前年同四半期は179,675千円の四半期純損失）となりました。

品目別の業績を示すと、次のとおりであります。

工業用プラスチック・ファスナー及びプラスチック精密部品につきましては、住宅設備業界、自動車業界関連商品など国内需要の低迷による売上の減少がありましたが、複写機業界における在庫調整一巡や中国輸出の好調な売上増加に支えられ、売上高は718,545千円（前年同四半期比158.9%）となりました。

生産設備治具につきましては、半導体業界の回復やアジアからのニーズの増加などにより、売上高は132,973千円（前年同四半期比156.9%）となりました。

その他（金型）の売上につきましては顧客各社の新規案件先送りの影響により減少し、売上高は28,950千円（前年同四半期比73.3%）となりました。

また、所在地別売上は、日本国内が752,151千円（前年同四半期比150.9%）、北米が21,207千円（前年同四半期比247.8%）、アジアが107,110千円（前年同四半期比154.1%）となりました。所在地別の営業利益は、日本国内が26,821千円（前年同四半期は188,137千円の営業損失）、北米が2,898千円の営業損失（前年同四半期は19,512千円の営業損失）、アジアが10,502千円（前年同四半期は8,093千円の営業利益）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1)資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べ405,067千円増の4,752,666千円となりました。流動資産は主に売掛債権回収の増加、及び新規借入れにより現金及び預金が453,523千円、売上高増による受取手形及び売掛金が98,901千円、それぞれ増加したことにより2,160,762千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ300,393千円増の2,726,131千円となりました。流動負債は検収高増による支払手形及び買掛金が126,765千円増加し、短期借入金が102,079千円増加したものの、1年内償還予定の社債が66,000千円減少したことにより1,244,363千円となりました。固定負債は長期借入金が195,925千円増加したことにより1,481,768千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べ104,673千円増の2,026,534千円となりました。株主資本合計は利益剰余金が104,170千円増加したことにより2,053,831千円となりました。

### (2)キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動により得られた119,946千円、投資活動により得られた93,429千円、財務活動により使用した74,541千円等により、当第2四半期連結会計期間末で1,174,229千円(前年同四半期比161,931千円増)となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は119,946千円(前年同四半期は146,954千円の支出)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益45,971千円、減価償却費42,481千円によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は93,429千円(前年同四半期は75,678千円の支出)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入100,000千円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は74,541千円(前年同四半期は258,486千円の収入)となりました。これは主に社債の償還による支出117,000千円によるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では平成21年11月10日及び平成22年2月9日に公表した連結業績予想数値に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日至平成22年3月31日)
1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2. 棚卸資産の評価方法	当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。 また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。
3. 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
4. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績やタックス・プランニングを利用する方法によっております。
5. 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去	連結会社相互間の債権と債務の相殺消去 当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。 連結会社相互間の取引を相殺消去 取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,184,347	730,823
受取手形及び売掛金	697,762	598,860
商品及び製品	139,878	117,621
仕掛品	22,084	19,962
原材料及び貯蔵品	31,862	31,476
その他	84,922	103,733
貸倒引当金	△96	△96
流動資産合計	2,160,762	1,602,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,753,061	1,753,061
減価償却累計額	△801,375	△776,900
建物及び構築物(純額)	951,685	976,160
土地	1,109,368	1,109,368
その他	2,191,654	2,215,688
減価償却累計額	△1,918,190	△1,910,198
その他(純額)	273,463	305,489
有形固定資産合計	2,334,516	2,391,017
無形固定資産	38,235	39,818
投資その他の資産	221,644	316,874
貸倒引当金	△2,492	△2,492
固定資産合計	2,591,904	2,745,218
資産合計	4,752,666	4,347,598
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	540,849	414,084
短期借入金	319,608	217,529
1年内償還予定の社債	240,000	306,000
未払法人税等	11,215	—
その他	132,690	106,310
流動負債合計	1,244,363	1,043,924
固定負債		
社債	174,000	261,000
長期借入金	472,300	276,375
退職給付引当金	144,512	144,531
役員退職慰労引当金	85,305	82,555
繰延税金負債	555,265	562,221
その他	50,385	55,130

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
固定負債合計	1,481,768	1,381,813
負債合計	2,726,131	2,425,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	460,421	460,421
資本剰余金	380,421	380,421
利益剰余金	1,213,006	1,108,836
自己株式	△18	△18
株主資本合計	2,053,831	1,949,661
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,444	△4,942
繰延ヘッジ損益	△975	4,001
為替換算調整勘定	△21,876	△26,859
評価・換算差額等合計	△27,296	△27,800
純資産合計	2,026,534	1,921,860
負債純資産合計	4,752,666	4,347,598

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
売上高	1,427,163	1,789,753
売上原価	901,682	998,784
売上総利益	525,480	790,968
販売費及び一般管理費	859,763	702,364
営業利益又は営業損失(△)	△334,282	88,603
営業外収益		
受取利息	1,522	469
受取配当金	126	181
不動産賃貸料	4,609	4,264
為替差益	—	8,056
助成金収入	—	18,567
その他	1,703	2,867
営業外収益合計	7,961	34,407
営業外費用		
支払利息	6,531	9,211
債権売却損	4,777	3,718
為替差損	5,820	—
不動産賃貸費用	2,385	2,334
社債発行費	3,119	1,709
その他	67	—
営業外費用合計	22,701	16,974
経常利益又は経常損失(△)	△349,022	106,036
特別利益		
固定資産売却益	—	536
その他	—	0
特別利益合計	—	537
特別損失		
固定資産売却損	—	369
固定資産除却損	—	314
特別損失合計	—	683
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△349,022	105,889
法人税、住民税及び事業税	3,912	9,899
法人税等調整額	△3,373	△8,179
法人税等合計	539	1,719
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△349,561	104,170

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	576,367	880,469
売上原価	386,409	494,194
売上総利益	189,958	386,275
販売費及び一般管理費	381,697	341,194
営業利益又は営業損失(△)	△191,739	45,081
営業外収益		
受取利息	626	29
不動産賃貸料	2,235	2,127
為替差益	12,216	1,942
助成金収入	—	4,026
その他	1,145	1,386
営業外収益合計	16,223	9,511
営業外費用		
支払利息	3,297	4,090
債権売却損	1,825	1,562
不動産賃貸費用	1,117	1,111
社債発行費	1,709	1,709
その他	67	—
営業外費用合計	8,016	8,474
経常利益又は経常損失(△)	△183,533	46,118
特別利益		
固定資産売却益	—	536
その他	—	0
特別利益合計	—	537
特別損失		
固定資産売却損	—	369
固定資産除却損	—	314
特別損失合計	—	683
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△183,533	45,971
法人税、住民税及び事業税	1,677	4,056
法人税等調整額	△5,535	△5,959
法人税等合計	△3,857	△1,902
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△179,675	47,873

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△349,022	105,889
減価償却費	106,913	82,609
固定資産除売却損益(△は益)	—	147
支払利息	6,531	9,211
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,344	△19
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△835	2,750
売上債権の増減額(△は増加)	405,304	△96,228
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,046	△20,570
仕入債務の増減額(△は減少)	△339,505	120,701
その他	△68,743	17,657
小計	△246,747	222,150
利息及び配当金の受取額	1,676	617
利息の支払額	△6,622	△10,425
法人税等の支払額	△856	1,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	△252,550	213,440
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	100,000
投資有価証券の取得による支出	△9,390	—
有価証券の償還による収入	200,000	—
有形固定資産の売却による収入	—	1,981
有形固定資産の取得による支出	△90,045	△9,798
その他	102	△847
投資活動によるキャッシュ・フロー	100,666	91,336
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	219,646	400,849
長期借入金の返済による支出	△65,395	△102,845
社債の発行による収入	196,881	98,290
社債の償還による支出	△30,000	△253,000
配当金の支払額	△22,812	△35
リース債務の返済による支出	△4,660	△357
財務活動によるキャッシュ・フロー	293,658	142,901
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,125	5,846
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	136,650	453,523
現金及び現金同等物の期首残高	875,647	720,705
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,012,297	1,174,229

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)及び

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)

当社グループは、工業用プラスチック・ファスナー及びプラスチック精密部品事業を展開しており、当該事業以外に事業の種類が無いため該当事項はありません。

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)及び

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)

当社グループは、工業用プラスチック・ファスナー及びプラスチック精密部品事業を展開しており、当該事業以外に事業の種類が無いため該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	498,305	8,559	69,501	576,367		576,367
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	38,746			38,746	(38,746)	
計	537,051	8,559	69,501	615,113	(38,746)	576,367
営業利益又は営業損失( )	188,137	19,512	8,093	199,556	7,817	191,739

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・・・アメリカ合衆国

(2) アジア・・・中華人民共和国

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	752,151	21,207	107,110	880,469		880,469
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	82,230	8		82,238	(82,238)	
計	834,382	21,215	107,110	962,708	(82,238)	880,469
営業利益又は営業損失( )	26,821	2,898	10,502	34,425	10,655	45,081

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・・・アメリカ合衆国

(2) アジア・・・中華人民共和国

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,255,440	23,022	148,699	1,427,163		1,427,163
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	102,128			102,128	(102,128)	
計	1,357,569	23,022	148,699	1,529,291	(102,128)	1,427,163
営業利益又は営業損失( )	328,031	37,497	17,850	347,677	13,395	334,282

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・・・アメリカ合衆国

(2) アジア・・・中華人民共和国

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,509,075	46,480	234,196	1,789,753		1,789,753
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	180,823	812		181,636	(181,636)	
計	1,689,899	47,293	234,196	1,971,389	(181,636)	1,789,753
営業利益又は営業損失( )	34,565	1,215	41,198	74,547	14,055	88,603

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・・・アメリカ合衆国

(2) アジア・・・中華人民共和国

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
海外売上高(千円)	8,559	102,869	3,884	115,313
連結売上高(千円)				576,367
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	1.5	17.8	0.7	20.0

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北米・・・アメリカ合衆国  
 (2) アジア・・・中華人民共和国  
 (3) その他・・・欧州  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
海外売上高(千円)	21,207	146,892	664	168,765
連結売上高(千円)				880,469
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	2.4	16.7	0.1	19.2

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北米・・・アメリカ合衆国  
 (2) アジア・・・中華人民共和国  
 (3) その他・・・欧州  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
海外売上高(千円)	23,022	223,835	9,579	256,438
連結売上高(千円)				1,427,163
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	1.6	15.7	0.7	18.0

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北米・・・アメリカ合衆国  
 (2) アジア・・・中華人民共和国  
 (3) その他・・・欧州  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
海外売上高(千円)	46,480	331,395	1,402	379,278
連結売上高(千円)				1,789,753
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	2.6	18.5	0.1	21.2

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北米・・・アメリカ合衆国  
 (2) アジア・・・中華人民共和国  
 (3) その他・・・欧州  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

該当事項はありません。